



EME-1

取扱説明書

クラビノーバ/ポータートーン/ポータサウンド用

YAMAHA

このたびはヤマハデジタルリバーブ
EME-1をお買上げいただきましてありがとうございました。

デジタルリバーブ・EME-1は、
ヤマハが誇るデジタルテクノロジーを結集して完成させた
画期的なエフェクターです。

本書では、
その魅力を充分お楽しみいただけるように
正しい取り扱い方を順を追って説明しています。

実際に操作しながら、
ぜひご一読ください。

もくじ

	ページ
1 電源について	1
2 各部の名称とはたらき	2
3 接続方法	3
4 機能	4
■故障と誤りやすい現象/仕様	5

ご使用の前に .. なかくお楽しみいただくために次の点にご注意ください。



…設置場所

次のような場所でご使用になられますと、故障の原因となりますのでご注意ください。

- 窓際などの直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所。
- 温度の特に低い場所
- 湿度やホコリの多い場所
- 振動の多い場所



…無理な力を加えない

過度の衝撃や無理な力を加えると故障の原因となります。本体を落としたり、上に座ったりしないようにご注意ください。



…電源の処置

ご使用後は、必ず電源スイッチを切ってください。また、電源アダプターもご使用後は必ずはずしてください。



…外装のお手入れ

お手入れは、乾いた布でカラ拭きしてください。シンナーやベンジンなどの溶剤は、外装をいためますので、使用しないでください。



…他の機器との接続

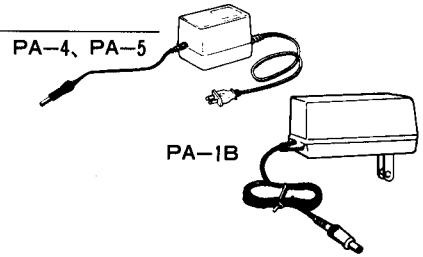
キーボードなどの他の機器と接続する場合、両方の電源スイッチを切ってから接続してください。

電源について

EME-1は電源として別売の電源アダプターを使用するようになっています。次の注意事項をお読みくださり正しく接続してください。

EME-1を単独でお使いになる場合

必ず、ヤマハアダプターPA-1BまたはPA-4、PA-5をお使いください。これ以外のアダプターをご使用になりますと、EME-1の故障の原因となりますのでご注意ください。

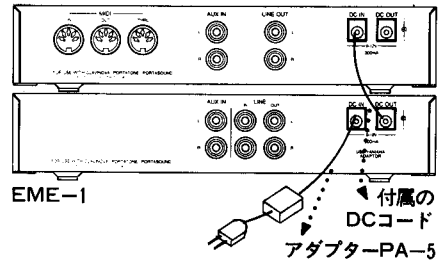


EME-1と他のEMシリーズと組み合わせて2台同時にお使いになる場合

EME-1を他のEMシリーズのユニット (FMサウンドエクスペンダーEMT-1など)と一緒に使う場合は、ヤマハアダプターPA-5をお使いください。アダプターの定格電流 (2A) の範囲内であれば、PA-5ひとつで複数のEMシリーズのユニットに電源を供給することができます。

▶接続方法は右図のようになります。付属のDCコードを使って一台のDC OUT端子ともう一台のDC IN端子をつないでください。

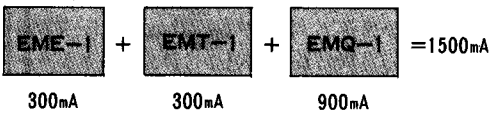
〈リアパネル〉 EMT-1



3台以上の同時使用の場合

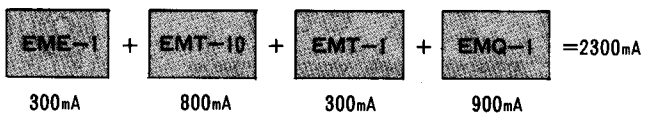
組合せによっては3台のEMシリーズのユニットにひとつのPA-5から電源を供給することができます。各ユニットの最大電流値 (EMシリーズのリアパネルに表示されています。) を合計したものが、2A (2000mA) を上回らないように組み合わせてください。

▶組合せ例1)



この場合は2A (2000mA) を越えていませんので、ひとつのPA-5で3つのユニットを使用することができます。

▶組合せ例2)

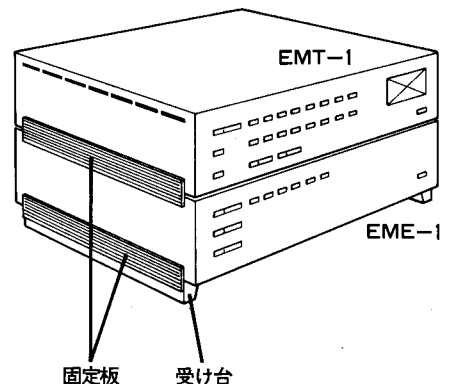


この場合は2A (2000mA) を越えていますので、アダプターは2つ必要です。

受け台と固定板の取り付け方

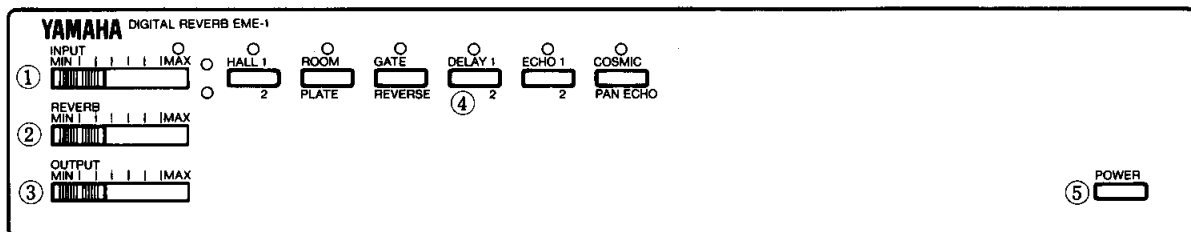
●付属品には2セットの受け台と固定板があります。受け台は、ご購入になられた機種を一番下にして使う時に固定板と組み合わせてお使いください。まず、受け台の5つの溝に固定板を差し込んでください。同様に、反対側の側面にも受け台と固定板を組み合わせたものを差し込みます。このようにするとクラビノーバなどの上に載せた場合、スピーカーからの音をふさいでしまうことはありません。

●また、他のEMシリーズをお求めになり、上に積み重ねるような場合は、固定板だけをお使いになり、下にあるEMシリーズの側面の溝と上にある他のEMシリーズの側面の溝をつなぎます。



各部の名称とはたらき

▶フロントパネル



①インプット

LINE IN端子からの入力レベルを調整するレバー。また、右上のランプは入力オーバーの警告を示します。尚、AUX IN端子からのオーディオ信号の入力レベルを調整することはできません。

②リバーブ

LINE IN端子から入ってくるオーディオ信号にかけるリバーブ効果を調整するレバーです。MAX側で最も効果が大きくなり、MINで効果をオフにすることができます。

③アウトプット

LINE OUT端子からの出力レベルを調整するレバー。ただし、AUX IN端子からのオーディオ信号に対しては機能し

ません。

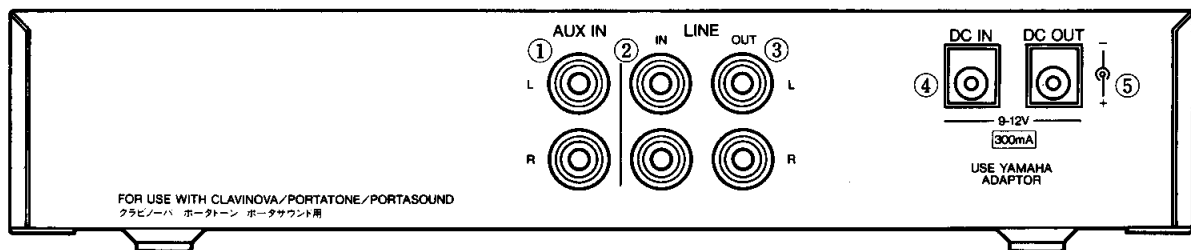
④エフェクトボタン

リバーブ、エコーなど12種類のデジタルエフェクトを選ぶボタン。ボタンを押すとボタンの上にあるランプが点灯します。また、ひとつのボタンに上下2種類のエフェクトがプリアセットされており、ボタンを2度押すことにより上下が切り替わり、左端の上下ランプがこの状態を示します。

⑤パワースイッチ

電源をON/OFFするスイッチ。電源ON時はホール1のエフェクトが選ばれます。

▶リアパネル



①AUX IN端子

エフェクトをかけずに、LINE IN端子からの信号とミックスしてLINE OUT端子から出力するためのオーディオ入力端子。

②LINE IN端子

エフェクトをかけたいオーディオ信号を入力するための端子。

③LINE OUT端子

①と②のオーディオ信号をミックスしてアンプなどに出力するための端子。

④DC IN端子

電源アダプター[PA-1B(300mA)/PA-4(1A)/PA-5(2A) * ()内はアダプターの定格最大電流値]を接続する端子。尚、⑤のDC OUT端子から他のEMシリーズに電源を供給する場合は、各機器の最大電流値(リアパネルに表示されています。)の合計値が、電源アダプターの定格最大電流値を越えないようにしてください。(→1ページ)

⑤DC OUT端子

電源を他のEMシリーズに供給するための端子。接続は上の原則にしたがっておこなってください。

接続方法

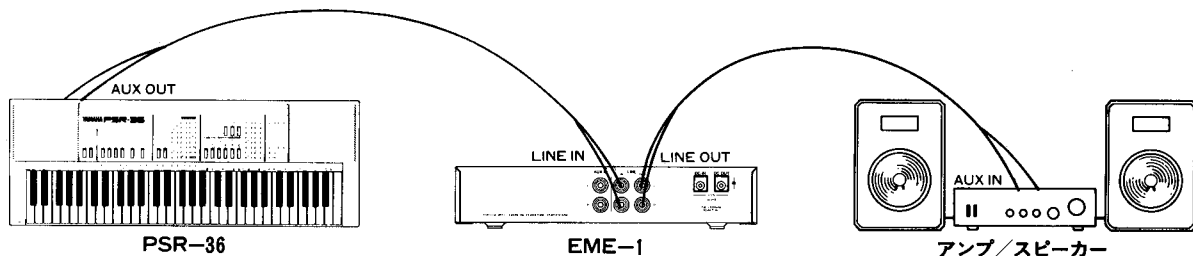
▶キーボードとの接続例

AUX IN端子を持つスピーカー付きのキーボードと接続して、キーボード本体のスピーカーから鳴らせる場合の一番簡単な例です。まず、接続しようとしている各機器の電源がOFFになっていることを確認してください。次にEME-1のLINE IN端子とキーボードのオーディオ出力端子 (AUX OUTまたはOPTIONAL OUT) をオーディオ接続コードで、R,Lを間違わないようにつないでください。それから、EME-1のLINE OUT端子とキーボードのオーディオ入力端子 (AUX INまたはOPTIONAL IN) を同じようにオーディオ接続コードでつなぎ、それぞれの機器の電源を入れます。

この接続方法が可能なヤマハキーボードは下記の通りです。これ以外の機種では、発振する可能性があるため下の接続方法をおこなってください。

CLP-500 } AUX IN/OUT端子 PSR-90/80 } OPTIONAL IN/OUT端子
CVP-10 } を使います。 DSR-2000/1000 } を使います。

▶その他のキーボードとの接続 (外部アンプを使った場合)

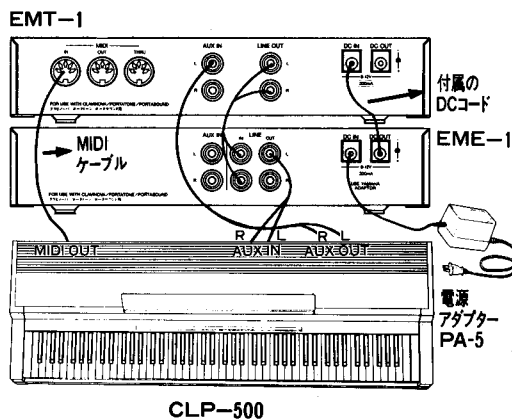
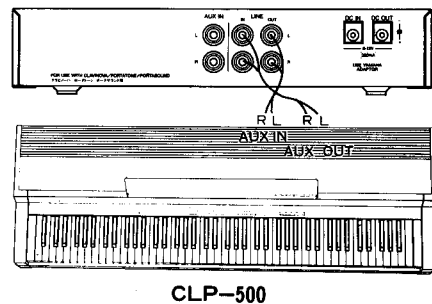


▶他のEMシリーズと一緒にお使いになる接続例 (例)CLP-500+EMT-1+EME-1

●右の接続を説明します。まず、キーボードを弾くとMIDI信号とオーディオ信号がEMT-1に送られます。

EMT-1では、MIDI信号に対して音色などを変えます。一方、入力したオーディオ信号に対してEMT-1は何もしませんが、LINE OUT端子からミックスした音が出力され、EME-1のLINE IN端子に入ります。ここで効果音加わり、EME-1のLINE OUT端子からキーボードのAUX IN端子にオーディオ信号が入り、キーボードから音が出力されます。この時、スピーカーからは、ノーマルなキーボードの音色、EMT-1の音色とノーマルな音色がミックスされた音色の効果音が発生します。

●EME-1のAUX IN端子には、リズムマシンなどのオーディオ信号を入力してください。この接続は、リズム音に効果がかからないため、リズム本来の明瞭な音色が損なうことなくキーボードのスピーカーからリズム音を発音させることができます。



機能

① パワースイッチを入れてください。

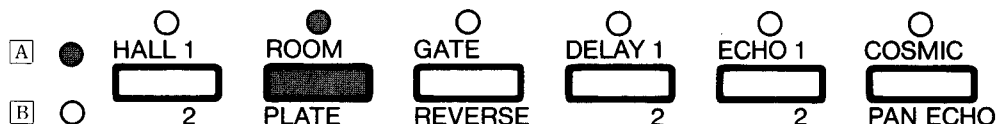
- ▶ 3 ページに示した接続をおこなったら、EME-1 のパワースイッチまたは他の機器のパワースイッチを入れてください。
- ▶ パワースイッチ ON 時は、ホール 1 のエフェクトが選ばれます。

POWER



② 好みのエフェクトボタンを押してください。

- ▶ 押したボタンの上にあるランプが点灯します。押した同じボタンをさらに押すと上下反対の効果が選ばれ、**A** または **B** のランプが点灯し、上下の効果が切り替わります。
- ▶ この効果は、LINE IN 端子から入力したオーディオ信号に対してのみ有効で、AUX IN 端子からのオーディオ信号に対しては効果はかかりません。



▶ エフェクトボタンの内容

HALL 1	クラシックなどの音楽ホールのリバーブ	DELAY 1	いわゆる“山びこ”の短い間隔のリバーブ
HALL 2	ジャズやポップスなどに使われるリバーブ	DELAY 2	DELAY 1 に比べて長い間隔のリバーブ
ROOM	ライブハウスなど小部屋のリバーブ	ECHO 1	DELAY より効果が弱くなりながら続くリバーブ
PLATE	鉄板リバーブを使った録音スタジオのリバーブ	ECHO 2	ECHO 1 に比べて長い間隔のリバーブ
GATE	残響音の後半部をカットした特殊なリバーブ	COSMIC	エコーの間隔がまちまちな特殊なリバーブ
REVERSE	残響音の後半部のリバーブを強くしたリバーブ	PAN ECHO	エコーの音が左右交互にでる特殊なリバーブ

③ キーボードの鍵盤を強く弾きながらインプットのレバーで入力レベルを調整してください。

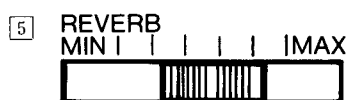
- ▶ このレバーは、LINE IN 端子から入力したオーディオ信号の入力レベルを決めるものです。入力レベルが大きくなりすぎますと、レバーの右上にある入力オーバーランプが点灯し警告します。ランプが点灯している状態で演奏をしますと音が歪む元になります。このような場合は、ランプが消えるレベルまでレバーを下げてください。
- ▶ AUX IN 端子の入力レベルを調整することはできません。

④ キーボードを弾きながら、アウトプットを調整してください。

- ▶ LINE OUT 端子からの出力レベルをコントロールするレバーです。このレバー操作によって、スピーカーからでる音量を調整することができます。
- ▶ AUX IN 端子からのオーディオ信号に対しては無効です。
- ▶ 出力レベルは、キーボード側のマスターボリュームでも調整することができますが、なるべくこのレバーで調整してマスターボリュームは固定しておいてください。

⑤ キーボードを弾きながら、リバーブを調整してください。

- ▶ このレバーは、選んだエフェクトのかかり具合をコントロールするものです。効果のかかり具合は、キーボードの音色やリバーブの種類によって異なります。
- ▶ MAX 側で効果が最大になり、MIN にすると入力信号と同じ信号を出力します。つまり、MIN にするとエフェクトはオフになります。



★ノイズのすくないS/N比の良いレバーの設定のコツ★

EME-1とCLP-500などを接続した場合、各レバーの設定によってはノイズ(シャーという音)が出やすくなる場合があります。このノイズは次のような操作方法で減らすことができます。

- ▶CLPなどのキーボードのマスターボリュームを普段のようにある程度高く上げておいてください。
- ▶次にキーボードを弾きながら、EME-1のインプットレバーを音が割れない程度(入力オーバーランプが点灯しない程度)に上げてください。
- ▶その上で、キーボードのマスターボリュームを下げて調節してください。

故障と誤りやすい現象

●次にあげる現象は故障と誤りやすい現象です。故障と思う前にご確認ください。

現象	原因と処置
音が小さい、またはでない。	<ul style="list-style-type: none"> ▶各機器のパワースイッチは入っていますか? 各機器の電源をいれてください。 ▶また、INPUTのレバーは適正レベルにセットされていますか? 適正レベルに上げてください。 ▶OUTPUTのレバーがMINになっていませんか? 適正レベルに上げてください。 ▶接続は完全でしょうか? ジャックと端子の接続を確認してください。
音が歪む。	<ul style="list-style-type: none"> ▶キーボード本体から出力できる機種は、3ページに示したものです。 これ以外のキーボードから音をだすと発振の原因となります。機種を確認したうえで、該当しない場合は外部アンプやステレオに出力してください。 ▶INPUTのレバーを上げすぎて、入力オーバーランプが点灯していませんか? レバーを下げて適正なレベルにしてください。
リバーブが効かない。	<ul style="list-style-type: none"> ▶AUX IN端子に接続していませんか? LINE IN端子に接続し直してください。

仕様

■エフェクトボタン

ホール 1
ホール 2
ルーム
プレート
ゲイト
リバース
ディレイ 1
ディレイ 2
エコー 1
エコー 2
コズミック
パン エコー

■レバー

インプット
リバーブ
アウトプット

■その他

パワースイッチ
入力オーバーランプ

■付属端子

AUX IN (L, R)
LINE IN (L, R)
LINE OUT (L, R)
DC IN (9-12V)
DC OUT (9-12V)

■定格電源

DC IN (9-12V)
電源アダプター
(PA-1B/PA-4/PA-5)

■最大電流

300mA

■寸法

間口: 218mm
奥行: 215mm
高さ: 44mm
重量: 1.1kg

■付属品

DCコード×1
オーディオ接続コード×2
受け台×2
固定板×2

アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へお申し付けください。

- 本機の保証書によりご購入日から満1年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。
(日本国内のみ有効)
- 保証期間の1年を過ぎても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か下記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。
- お買い上げ店による修理調整
故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。
- サービスを ご依頼される前に
ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の“故障と誤りやすい現象”の項をい一度お読み頂き、お確かめください。(ご依頼をお受けして点検いたしますと故障でない場合でも点検代を申し受けますのでご注意ください。)
- サービスのご依頼
サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号をハッキリお知らせください。またお勤めて昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(機器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないときにお客さまにご迷惑をおかけしないうすみます。)

YAMAHA電気音響製品サービス拠点 (修理受付および修理品お預り窓口)

東京電音サービスセンター	〒211 川崎市中原区本月1184	TEL.044-434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F	TEL.025-243-4321
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内	TEL. 06-877-5262
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ㈱高松店内	TEL.0878-51-7777
名古屋電音サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ㈱名古屋流通センター	TEL.0878-22-3045
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL.052-652-2230
北海道電音サービスセンター	〒065 札幌市東区本町1条9-3	TEL.092-472-2134
仙台電音サービスセンター	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL.011-781-3621
広島電音サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39	TEL.022-236-0249
浜松電音サービスセンター	〒435 浜松市上西町911	TEL.082-874-3787
(本社)電音サービス部	〒435 浜松市上西町911	TEL.0534-65-6711
		TEL.0534-65-1158

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

本 社

シングルキーボード課部 / 〒403 浜松市中沢町10-1

TEL.0534(60)3275

東京営業所 / 〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル

TEL.03(572)3130

東京特販営業所 / 〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル

TEL.03(572)3130

大阪営業所 / 〒542 大阪市南区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館

TEL.06(252)7491

名古屋営業所 / 〒460 名古屋市中区錦1-18-28

TEL.052(201)5150

九州営業所 / 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

TEL.092(472)2152

北海道営業所 / 〒064 札幌市中央区南十条西1-4 ヤマハセンター

TEL.011(512)6113

仙台営業所 / 〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル

TEL.022(222)6141

広島営業所 / 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18

TEL.082(244)3749

YAMAHA feelin' club



T4960693005842

YAMAHA
YAMAHA CORPORATION
ヤマハ株式会社